

○市道東町26号線

延長…134・50メートル

幅員…45・13メートル

○市道東町27号線

延長…81・50メートル

幅員…6メートル

○市道孝子堂前線

延長…350メートル

幅員…5・557メートル

予算

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ2億3千71万7千円追加し、予算総額を166億1千663万円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○放課後児童クラブ施設整備事業 1億1千790万2千円

○スパシユランドしろいし修繕・改修事業 1千226万1千円

○ホワイトキューブ修繕・改修事業 5千530万円

○白石城・歴史探訪ミュージアム修繕・改修事業 1千17万4千円

予算審査特別委員会

第56号議案・平成28年度白石市一般会計補正予算(第1号)から第58号議案・平成28年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)までの計3議案について、定例会2日目(6月13日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・松野久郎、副委員長・佐藤秀行)は、6月14日に審査を行いました。その結果、すべての議案について、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

○白石スキー場運営費貸付金 1千万円

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第2号)
(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ4千631万2千円を追加し、予算総額を166億6千294万2千円とするものです。

国の法律改正により創設された「地方創生推進交付金」を活用する事業、熊本地震への応援職員派遣の費用を計上しています。

民生費

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第1号)

〔質疑〕放課後児童クラブの施設整備について、現在の利用状況を伺う。

〔答弁〕第二児童館放課後児童クラブは、60名程度が適正であるが、現在、82名が登録・利用しており、今年度、待機児童が15名ほど出ている。

福岡放課後児童クラブは、福岡小学校の教室と民間住宅

借りの上げで適正基準内で利用している。

〔質疑〕第二児童館放課後児童クラブについて、登録数を超えたのはいつなのか伺う。

〔答弁〕登録者は、2年ほど前から5名、10名と徐々に増えてきたが、待機児童をつくらず受け入れに努めてきた。

以前は1年生から4年生の低学年の利用だけであったが、最近の一年くらいで5・6年生の利用者が増えた。

今年度において、受け入れが困難となり待機児童が出たため施設を整備する計画となった。

衛生費

〔質疑〕放射能対策費について、本市の通学路の中で毎時0・23マイクロシーベルト以上の地区を伺う。

〔答弁〕昨年の再調査の結果、今回補正予算に計上している越河地区の4カ所と国が管理する斎川地区の1カ所の計5カ所である。

商工費

〔質疑〕白石スキー場運営費貸付金について、貸し付けにまつ経緯を伺う。

〔答弁〕白石スキー場の今シーズンの入場者数と売上額が、雪不足のため大幅に減少した。前年度対比で入場者数が53・5%、売上額が60・9%という状況であった。

支払い等はすべて終了しているが、来シーズンの営業に向けての準備等に資金が必要なことから、市から1千万円を貸し付けし、来シーズンへの運営経費に充て、シーズン後は、速やかに貸付金を返還してもらう計画である。

指定管理者であるNPO法人・不忘アザレアには、これまで15年間、指定管理委託料の支払いもなく、この間6回に渡り、約2千900万円の寄附金も受けている。

そのため、今回貸し付けしながら、市の冬季の観光事業、体育振興のためにも存続させたいと考えている。